

被ばく低減対策好事例集

場所		分類							番号	01-15-2
原子炉建屋内	RB	Y	4	1	時間					
タービン建屋内	TB			2	距離					
R ZONE	R			3	遮へい					
Y ZONE	Y			4	線源の除去					
G ZONE	G			5	遠隔、自動化					
その他()	Z			6	汚染拡大防止					
				7	その他					
内容		フランジ型タンク解体作業におけるレーザー除染の採用								
作業部位		1F構内 タンクヤード								
概略		フランジ型タンクを解体にあたりβ線被ばくを低減するため、レーザー除染を行っている。								
評価 定性・定量	効果		対策前	対策後						
		被ばく線量(mSv)	179.7(β線)	127.0(β線)						
		人工数(人日)	--	--						
事例詳細		<p>対策前 フランジタンク内は高エネルギーβ線放出核種で汚染しており、解体に際してβ線被ばくが問題となっていた。</p> <p>対策内容 タンク表面に付着したβ線からの被ばくを低減するため、改良したレーザー除染装置を使ってタンク全面の除染を行い、タンク解体時の被ばく低減・汚染拡大防止を図った。</p> <p>➤タンク側面へのレーザーの照射は、1ブロック(600×300mm)とし、照射⇒移動⇒照射⇒移動を繰り返す。</p> <p>➤レーザーアームが2本あり、各レーザーが約180度回転することで、タンク側面全体へのレーザー照射を可能としている。</p>								
										